

- 母子生活支援施設版 -

事業プロフィール

1.事業所名 :

2.(1)運営主体(法人名等):

(2)設置主体:

3.事業所所在地 :

4.事業所の長の氏名(施設長等):

5.連絡先

Tel

Fax

Eメール

ホームページ

6.同一運営主体が同じ敷地内で連携して実施している主な福祉・医療サービス事業を利用者数からみて上位5つ以内(例:特別養護老人ホーム、保育所、子ども家庭支援センターなど、評価対象事業を含む。)

1)

2)

3)

4)

5)

7.同一事業所(同一敷地または同一建物内)で行われる全事業のうち、今回の評価対象サービス事業の位置づけ

収入面でみて 約 _____ %

職員数でみて 約 _____ % (非常勤は常勤換算)

8.当該事業の開始時から現在までの重要な変遷(制度改正に基づくもの含む)

(1)開始時期 年 月

(2)重要な変遷

9.理念・方針

事業所が大切にしている考え(事業所の理念・ビジョン・使命など経営・運営方針)のうち、特に重要なもの(上位5つ以内)を簡潔に記述

- 1)
- 2)
- 3)
- 4)
- 5)

10.サービス提供の考え方について記述(日々の業務の考え方、利用者ニーズに合わせた施設独自の取組、利用者や家族との関係、地域との関係を含む)

11.期待する職員像

(1)職員に求めている人材像や役割

(2)職員に期待すること(職員に持って欲しい使命感)

12.職員の状況 (月 日現在)

(1)常勤職員数 _____人

非常勤職員数 _____人(常勤換算 _____人)

(計算式:非常勤職員のそれぞれの勤務延時間数の総数÷当該事業所の常勤職員が勤務すべき時間数)

(2)専門職員の人数

母子指導員		少年指導員		保育士	
心理担当		調理員			

(3) 非常勤職員の勤務形態と業務内容

* 職員種別は、パート、アルバイト、派遣、契約等、施設で通常使用している呼称でご記入ください。

職員種別	人数	勤務形態 (勤務時間、シフト)	業務内容

(4) 常勤職員の平均勤続年数 _____ 年

(5) 常勤職員の男女比 (男性 : 女性 = _____ : _____)

13. 現在のサービス提供能力と利用者数 (以下のどれかに つける)

- 1) サービスを希望しながら待っている人がかなりいる
- 2) ほぼサービス提供能力に見合った利用者数で、待っている人はほとんどいない (ほぼ定員を満たしている)
- 3) サービス提供能力に余力があり、希望者があれば受け入れたい
- 4) その他 (_____)

14. 3年後の見通し (以下のどれかに つける)

- 1) 地域のニーズに応じて施設機能を生かした新たなサービスを提供する計画がある
- 2) 現在のサービス水準を維持する方向で考えている
- 3) 経営改善・意識改革をしていかないと、現在のサービス水準を下回ること予想される
- 4) その他 (_____)

15. 評価対象としているサービス事業に関して事業所として力を入れて取り組んでいる点を、人的サービス面と設備面に分けて、重要な順に各3つ以内で記述

人的サービス面

- 1)
- 2)
- 3)

設備 環境面

- 1)
- 2)
- 3)

16. 経営に影響を与えていると考えている事業環境の変化を記述 (制度改正を含む)

17. 評価対象としているサービス事業を維持・向上させていくためにこれから何をしていかなければならないかについて、重要な順に3つ以内で記述

(例 .経営改善への職員の参画、職員の能力開発、後継者の育成、給与制度の改善、事業者間交流、入浴設備の拡張など)

- 1)
- 2)
- 3)

18. 定員および現在の利用者の状況 (月 日現在)

(1) 世帯定員 _____ 世帯
 現在の利用世帯数と人数 _____ 世帯 _____ 人

* 入所直前の住所 (居所)

施設所在地同一区・市内 _____ 世帯
 都内他区市町村 _____ 世帯
 都外 _____ 世帯

母 親 の 年 齢	20歳未満	人
	20歳代	人
	30歳代	人
	40歳代	人
	50歳代	人
	60歳以上	人

児 童 の 内 訳	未就学児	人
	小学校1～3年生	人
	小学校4～6年生	人
	中学生	人
	高校生 (または中学校卒業)以上	人

母子等緊急一時保護定員 世帯 前年度延べ利用者数 世帯
 学童クラブ定員 人 利用者数(登録数) 人

(2)入所理由

夫等の暴力	世帯(%)
入所前の家庭内環境の不適切	世帯(%)
職業上の理由	世帯(%)
住宅事情	世帯(%)
経済的理由	世帯(%)
その他	世帯(%)

(3)入所している母子の自立支援計画の課題の中で、多い順に3つ以内で記述

(例 .母親の就労等による経済的自立、子どもとの関係調整、母親の精神的安定、基本的生活習慣の獲得など)

- 1)
- 2)
- 3)

19.施設の状況

(1)建物の面積(母子生活支援施設分) _____ m²
 1世帯当たり _____ m²(計算式:建物面積合計÷世帯数)
 耐火構造 1.はい 2.いいえ
 耐震構造 1.はい 2.いいえ

(2)建物等の状況

建築(含大改築)後の経過年数 _____ 年
 ・建物の形態(_____ 階建)
 ・施設の使用階数(_____ 階~ _____ 階)
 他施設と併設している場合(併設施設: _____)
 3年以内の大改築計画の有無 1.有 2.無

(3)居室の状況

1世帯当たり居室面積 _____ m²(計算式:居室面積合計÷世帯数)
 居室内設備の有無
 便所 有・無
 炊事場 有・無
 浴室 有・無
 シャワーのみ 有・無

(4)立地条件

交通の便

_____駅から 徒歩・バス その他(_____)で _____ 分

バス停 _____ から 徒歩 _____ 分

近隣の環境 (スーパー、公園等までの距離など)

()

20. 評価を実施するにあたり 評価機関に知っていて欲しいこと (経営層が考えていること、利用者の状況、職員の状況など)を自由にご記入ください。
